

亀岡市行財政改革大綱 2020-2024 実施計画

令和6年度取組結果

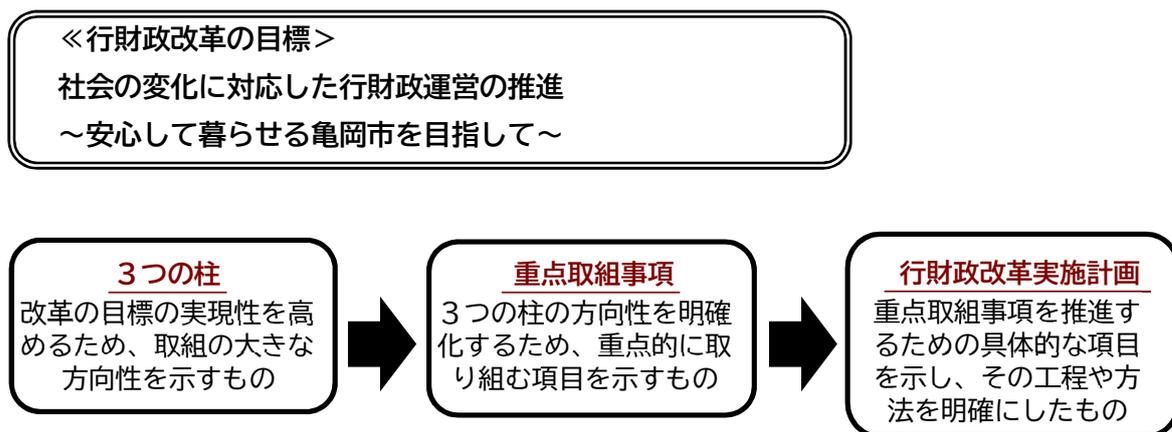
亀 岡 市

1 亀岡市行財政改革大綱 2020-2024 実施計画（令和6年度）取組結果について

本市では、健全で効率的な行財政運営を推進するため、行財政改革大綱 2020-2024 と同大綱に基づく実施計画を策定しながら行財政改革の取組を進めてきました。

大綱は、行財政改革に対する取組の方向性を示した基本方針であり、実施計画は、大綱に掲げる重点取組事項を推進するための具体的な項目を示し、その工程や方法を明確にしたものです。

《行財政改革大綱 2020-2024 の概念図》



令和6年度実施計画の取組結果は、大綱の計画期間5カ年（令和2年度から令和6年度）のうち、令和6年度における具体的な取組内容を取りまとめています。

令和6年度実施計画では、13の取組項目を推進しました。具体的な取組結果については、別紙実施計画調書にそれぞれ取組内容や実績、評価等を記載しています。

2 シートにおける各項目の見方

実施計画シート

「No.」	取組を進行管理するための管理番号
「取組項目」	取組項目の名称
「所管課」	取組項目に取り組む、または取りまとめを行う課
「関係課」	取組項目に対して庁内横断的に取り組む課
「取組内容」	取組項目を達成（実現）するために実際に行う内容 (取組手法)
「期待される効果」	取組項目を実施することによる効果
「計画年度」	取組を実施する年度
「実施項目と計画」	取組項目を達成（実現）するために実施する具体的な 実施項目と年度ごとの計画（工程）

計画は、「準備」、「実施」で表記する。

「準備」…具体的取組を実施するための検討を行い、
実施に向けた準備を行う期間

「実施」…具体的取組を実施する時期

「目標指標と数値目標」 取組内容や実施項目が達成できたかを判断するための
目標と数値目標

※新規の取組で明確な数値目標を算定できない取組
項目や取組内容の結果を数値化できない項目につい
ては、目標指標を設定していない。

進捗管理シート

「実施状況 計画」	各年度の半期ごとに行う具体的な計画
「実施状況 実績」	各年度の半期ごとに行ったこと（実績）

以下の項目については、年度末に記載

- 「評価」 当該年度に行ったことの評価
- 「達成度」 「計画」：年度計画に対する取組実績の評価
「目標」：目標指標に対する取組実績の評価
「目標（実績値）」：数値目標の実績値
※「計画」及び「目標」の達成度は、1～5までの5段階で評価

1：非常に低い	2：低い	3：普通
4：高い	5：非常に高い	

- 「未達成の原因と今後の取組」 達成度が「1」または「2」になった原因と今後の取組

- 「今後の方向性」 今後の取組の方向性のこと

選択肢「継続」、「終了」から選択 「継続」…引き続き取組を継続する 「終了」…当該年度で取組を終了する

※「コメント」欄は、改善事項や今後の取組、また今後の方向性で特記すべきことを記載

- 「行政改革推進委員会の評価」 実施結果の達成度を1～5までの5段階で評価した平均値

1：非常に低い	2：低い	3：普通
4：高い	5：非常に高い	

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-①市民目線に立った窓口サービスの構築

実施計画シート							
No.	1	取組項目	窓口サービスの充実・事務改善				
所管課	企画調整課・市民課		関係課	保険医療課、高齢福祉課、障がい福祉課、税務課、情報政策課、窓口業務関係課			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口で提出する書類の簡素化や市民への効率的な案内方法等について、充実、事務改善を図る。 ・死亡届に伴う各種手続きについて、事前予約制による職員派遣型ワンストップ（※）窓口として、おくやみ窓口を設置する。 						
期待される効果	窓口業務の見える化と効率化により、待ち時間を減少させる。複雑な手続きが座って落ち着いた環境で出来る。高齢の遺族も安心して手続きが出来る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	①窓口業務のあり方の検討						
	対象となる窓口業務の洗い出し（庁内調査）		準備	実施	実施		
	他市の状況調査		準備	実施			
	窓口業務のあり方の検討・改善			準備	実施	実施	実施
	②おくやみ窓口の設置						
	各業務の対応時間確認、連携方法の検討、業務フロー決定		実施				
設置場所・設備関係の調査 設備の設置		実施					
おくやみ窓口の運用			実施				
目標指標	数値目標	見直しを検討・改善した窓口業務数	—	—	1	20	20
		おくやみ窓口の設置	90%	100%	—	—	—
	実績値	見直しを検討・改善した窓口業務数	—	—	14	22	15
		おくやみ窓口の設置	100%	—	—	—	—

進捗管理シート							
R6年度 実施状況	上半期	計画	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務のあり方の検討（窓口のデジタル化の推進）		実績	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務の事務改善、デジタル化の実施（11件）	
	下半期	計画	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務のあり方の検討（窓口のデジタル化の推進）		実績	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務の事務改善、デジタル化の実施（4件）、今後の窓口のあり方検討	
実施結果の 自己評価	評価	デジタルファースト宣言にオンライン手続きを11、窓口合計15件の事務改善を行い、		基づく行政手続きのデジタル化・オンライン化の推進により、サービスのデジタル化を3、インターネット予約受付を1、市民サービスを向上させた。			
	達成度	計画	3	目標	2	目標 (実績値)	15件
未達成の原因と 今後の取組	令和3年度のデジタルファースト宣言以降、窓口サービス等のデジタル化を積極的に推進し、緊急性の高い業務や高い効果が見込まれる業務については概ねデジタル化を完了していることもあり、目標数値の達成には至らなかった。						
今後の方向性	継続	コメント	デジタル化が未完了の業務についても引き続きデジタル化を進め、「行かない、書かない、待たない」窓口の実現を目指す。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3	II目標	3	III妥当性	3

※ワンストップ…1カ所の窓口カウンターで手続きをすること。

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	2	取組項目	市政情報の共有化と広報、広聴機会の充実				
所管課	広報プロモーション課	関係課	情報発信を行う各課				
取組内容	市政情報の市ホームページ、SNS等による積極的な発信						
期待される効果	積極的な発信によって市政情報を共有し、市民の市政への参画の促進を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	情報発信に対するレスポンス数の調査		実施	実施	実施	実施	実施
	調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の年度総計	310,000	315,000	640,000	640,000	640,000
	実績値		753,486	756,034	528,453	406,959	431,180

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査 (市ホームページ全体の訪問者数、各SNSアカウントのフォロワー数)		実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計 (上半期) 225,805件 <参考> ・SNS計38,903(前年比112%)	
	下半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査 調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し		実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計 (下半期) 205,375件 <参考> ・HP全体の総ユーザー数:1,239,963人(1年間) ・SNS計43,703(前年比116.3%)	
実施結果の 自己評価	評価	委員会での意見を参考に、ホームページ全体にアクセスした総ユーザー数を指標のひとつとしたところ、一定の流入数増加が確認出来た。特に、イベントカレンダーや広報誌を公開しているWebページへのアクセスが昨年度同時期と比較して大幅に増加しており、導線が出来たと考えられる。					
	達成度	計画	3	目標	3	目標 (実績値)	431,180件
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	市民、市民以外といったターゲットに応じて各種デジタル媒体を使い分けることで、本市の認知度向上と各施策の効果的な情報発信を目指す。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3	II目標	3	III妥当性	3

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	3	取組項目	市民協働の推進				
所管課	市民力推進課	関係課	全課				
取組内容	職員や市民、事業者等に対して地域の課題解決の必要性やそのための市民活動と協働について理解を広める手法を検討し、実施する。						
期待される効果	市民活動に参画する機運が高まり、関わる人が増える。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	市民活動と協働について理解を深める手法の検討・知る機会の創出		実施	実施	実施	実施	実施
	地域課題の共有と課題解決に向けた協働の促進		準備	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-	-

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供 中間支援組織の機能強化に向けた取組の実施		実績	亀岡市ホームページにおける広報、まちづくり協働推進委員会の開催（1回） かめおか市民活動推進センター委託団体と意見交換（1回）	
	下半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供 中間支援組織の機能強化に向けた取組の実施		実績	亀岡市ホームページにおける広報、まちづくり協働推進委員会の開催（2回）、まちづくりワークショップの開催（1回）、支援金活用団体の中間報告交流会を実施	
実施結果の 自己評価	評価	まちづくりワークショップについては市民活動推進センターで開催し、多様な参加者が集まる充実した内容のものになった。多様化する市民活動に関する相談・要望に柔軟に対応できるよう引き続きセンターと協力しながら支援を行っていく。					
	達成度	計画	3	目標	-	目標 (実績値)	-
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	市民活動に接点をもってもらい、参画につながるような事業を引き続き実施する。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3	II目標	-	III妥当性	3

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート							
No.	4	取組項目	公民連携によるまちづくり				
所管課	企画調整課		関係課	全課			
取組内容	民間企業等との連携、民間活力の導入について検討し、公民連携によるまちづくりを進める。						
期待される効果	民間活力を導入することで、行政サービスの質の向上を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	民間企業等との連携、協定締結の推進		実施	実施	実施	実施	実施
	包括協定（※）に基づく施策の推進		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	-		-	-	-	-

進捗管理シート							
R6年度 実施状況	上半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定に関する状況把握 他自治体を参考に今後の公民連携のあり方検討		実績	上半期の協定締結状況及び連携協定の活用状況の調査実施 包括協定を4件締結	
	下半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定締結結果の検証 他自治体を参考に今後の公民連携のあり方検討		実績	下半期の協定締結状況及び連携協定の活用状況の調査実施 包括協定を1件締結	
実施結果の 自己評価	評価	連携協定の活用状況の調査により、これまでの成果を把握した。市制70年記念事業への協力を包括協定企業に呼びかけ、イベント出展等の協力を予定している。また、新たな包括連携協定も協議が進行中である。					
	達成度	計画	3	目標	-	目標 (実績値)	-
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	引き続き連携協定の活用状況の把握に努め、他市事例も参考にしながら、所管課に対して有効活用の働きかけを行う。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3	II目標	-	III妥当性	3

※包括協定…特定の分野に限ることなく、幅広い分野において協力しながら、取組を進めるために締結する協定のこと。

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-①分野横断的な組織体制の構築

実施計画シート							
No.	5	取組項目	庁内連携システムの確立				
所管課	企画調整課		関係課	全課			
取組内容	様々な行政課題に対応するため、プロジェクトチームやワーキンググループ等を活用し、課を越えた横の連携を強化する。 組織の活性化と行政運営の効率化を図るため、プロジェクトチーム等の設置のあり方を見直す。						
期待される効果	横の連携を強化することで、施策の推進や行政課題の解決を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用		実施	実施	実施	実施	実施
	プロジェクトチーム、ワーキンググループの現状及び課題の把握		実施	実施	実施		
	プロジェクトチーム、ワーキンググループ設置のあり方を見直し			準備	実施	実施	実施
	多様な連携方法の検討・試行					実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-	

進捗管理シート							
R6年度 実施状況	上半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用	実績	上半期の設置状況及びこれまでに設置したプロジェクトチーム、ワーキンググループの活用状況の調査実施、マニュアルの作成作業実施		
	下半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 運用マニュアルの検証・見直し	実績	下半期の設置状況及びこれまでに設置したプロジェクトチーム、ワーキンググループの活用状況の調査実施。運用マニュアル作成。		
実施結果の 自己評価	評価	緑化フェア機運醸成を目指したワーキンググループや、今後の市の重要施策を検討するプロジェクトチームなど、積極的な運用を行った。また、プロジェクトチーム等の運用に関するマニュアルを作成し、今後の円滑な運用に向けた仕組みづくりを行った。					
	達成度	計画	3	目標	-	目標 (実績値)	-
未達成の原因と 今後の取組		-					
今後の方向性		継続	コメント	引き続き、庁内連携の円滑化に努めるとともに、職員の働き方改革にも配慮した仕組みづくりを継続する。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3	II目標	-	III妥当性	3

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート							
No.	6	取組項目	人材の育成、職員研修の充実				
所管課	人事課・市立病院経営企画室		関係課	—			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修や階層別研修、派遣研修等の実施効果の検証や見直し等を行い、職員研修の充実を図る。 ・日々発生する医療の課題に対して、各部署参加の委員会、研修会を実施し、病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力を強化する。 						
期待される効果	職員の業務能力の向上、職員の仕事に対するモチベーション向上						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	①人材の育成、職員研修の充実						
	研修計画の策定と運用		実施	実施	実施	実施	実施
	職員研修、他団体への派遣研修		実施	実施	実施	実施	実施
	②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化						
	医療安全管理に係る研修会		実施	実施	実施	実施	実施
	感染対策に係る研修会		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	選択希望制研修の延べ受講者数	100	105	110	115	120
		医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施回数	2	2	3	3	3
	実績値	選択希望制研修の延べ受講者数	115	80	188	137	121
		医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施回数	4	3	3	4	4

進捗管理シート							
R6年度 実施状況	上半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会		実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施	
	下半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会		実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施	
実施結果の 自己評価	評価	【①人材の育成、職員研修の充実】 カスハラ対応研修やeラーニング（テーマ選択制）、派遣研修などを実施することができた。					
	達成度	計画	3	目標	3	目標 (実績値)	121
	評価	【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 研修会を計4回実施することができた。研修により、医療安全、サイバーセキュリティ対策及び感染症対策等に関しての知識を得て、職員の能力向上をすることができた。					
	達成度	計画	4	目標	4	目標 (実績値)	4回
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	【①人材の育成、職員研修の充実】 今後も継続して、職員研修の充実を図る。 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 今後も継続して、医療安全管理及び感染対策に係る研修を実施し、職員の能力向上に取り組む。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	① I 計画	3	II 目標	3	III 妥当性	3
		② I 計画	4	II 目標	4	III 妥当性	3

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	7	取組項目	人事評価制度の運用				
所管課	人事課	関係課	—				
取組内容	職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような人事評価制度の運用を図る。 また、毎年度の実施状況等に応じてより良い評価制度となるよう、制度の見直しを行う。						
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の主体的な職務の遂行及びより高い能力を持った公務員の育成 ・ 組織全体の士気高揚を促し、公務能率の向上につなげ、住民サービス向上の土台をつくる 						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	人事評価	実施		実施	実施	実施	実施
	<small>(職務目標の設定、スタートアップ面談(目標設定面談)、フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談(育成面談)、ステップアップ面談)</small>						
	人事評価制度の見直し	実施		実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	—	—	—	—	—	—

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談(目標設定面談)	実績	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談(目標設定面談)、行動記録表の記入		
	下半期	計画	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談(育成面談)、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証	実績	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、最終評価、フィードバック面談(育成面談)、最終評価結果の開示、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証、制度見直しに係る試行実施		
実施結果の 自己評価	評価	令和2年度から本格実施しており問題なく実施できた。評価制度の見直しを進めるため新しい制度を試行実施した。					
	達成度	計画	3	目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	コメント		職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような制度となるよう検討を行う。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3	II 目標	—	III 妥当性	3

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	8	取組項目	業務効率を高めるためのICTの活用				
所管課	企画調整課・情報政策課		関係課	全課			
取組内容	効率的で持続可能な行財政運営を推進するため、RPA（※）を始めとする業務の効率化が期待できるICT（情報通信技術）の活用を図る。						
期待される効果	業務の効率化を図り、よりよい市民サービスにつなげる。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	RPAの活用及び活用業務の拡大		実施	実施	実施	実施	実施
	AI-OCR（※）活用及び活用業務の拡大		実施	実施	実施	実施	実施
	AI（※）の活用検討			実施	実施	実施	実施
	ICTツールの調査研究			実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	RPA適用を検討・導入した事務数	3	5	5	5	5
	実績値		5	5	5	5	5

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、RPA運用啓発、AI活用に関する調査、 ICTツールの調査研究		実績	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成3本、RPA運用啓発、AI活用に関する 調査、ICTツールの調査研究	
	下半期	計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、AI活用に関する調査、ICTツールの調 査研究、次年度RPA適用業務の検討		実績	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成2本、RPA運用啓発、AI活用に関する 調査、ICTツールの調査研究	
実施結果の 自己評価	評価	各業務担当者と連携してシナリオ開発及び運用を行った。					
	達成度	計画	4	目標	3	目標 (実績値)	5件
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	現在運用中のシナリオに係る各種システムが更新されていくため、現行 シナリオの修正対応を可能な限り行っていく。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	4	II目標	3	III妥当性	3

※RPA…定型的なパソコン操作をソフトウェア型ロボットにより自動化すること。
 ※AI-OCR…人工知能（学習機能）を搭載した、文字を読み取って文字データへと変換する技術のこと。
 ※AI…人工知能のこと。

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を發揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	9	取組項目	電子決裁の推進				
所管課	総務課		関係課	企画調整課、財政課、会計課			
取組内容	迅速な意思決定と効率的な事務執行のため、電子決裁の浸透と対象範囲の拡大に取り組む。						
期待される効果	事務の効率化・迅速化の推進、コピー使用量及び紙文書の削減						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	運用状況の把握、先行自治体等の調査・研究		実施				
	庁内における推進体制の確保		準備	準備	実施	実施	実施
	環境整備（財務会計システムとの連携、機器の導入、各種規程の見直し）			準備	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	-		-	-	-	-

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	新システムの構築、更新作業 電子決裁拡大範囲の検討、ルール整理		実績	ワーキンググループ会議の実施 新システム構築、更新に向けた分科会の実施		
	下半期	計画	新システムの構築、更新作業 デモ環境の実施 電子決裁拡大範囲の検討、ルール整理、周知		実績	新システムの構築・更新作業完了 デモ環境実施 新年度からの電子決裁拡大		
実施結果の 自己評価	評価	新システムの構築・更新作業を完了し、電子決裁の拡大に向けた準備をすることができた。これまで紙決裁であった伝票については、3月中旬から電子決裁の運用を開始することができた。						
	達成度	計画	3		目標	-	目標 (実績値)	-
未達成の原因と 今後の取組	-							
今後の方向性	終了	コメント	文書管理と財務会計システムを連携させたシステムを導入したことで、これまで全て紙決裁であった伝票の電子決裁を開始できた。また起案文書について、これまで電子決裁の対象外としていた負担行為に関する文書等についても電子決裁を開始する準備を整えることができた。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3		II 目標	-	III 妥当性	3

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート

No.	10	取組項目	経常的経費を含む事務事業の検証				
所管課		財政課	関係課	全課			
取組内容	経常的経費（※）を含む事務事業の実態を把握、検証した上で、事務事業の取捨選択やスクラップ・アンド・ビルド（※）などを徹底することで、健全で持続可能な財政運営を行う。						
期待される効果	最少の経費で最大の効果を挙げることの徹底						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	財政担当による経常的経費を含む事務事業の見直しや改善・課題点などの検討		実施	実施	実施	実施	実施
	主管課による事務事業の実態把握及び検討		実施	実施	実施	実施	実施
	検討事項の審査		実施	実施	実施	実施	実施
	当初予算など編成事務において事務事業の取捨選択やスクラップ・アンド・ビルドなどの実施		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	経常的経費における事務事業の見直し（検討数）	10	10	10	10	10
	実績値		20	13	10	11	10

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	改善・課題点等の検討 主管課による実態把握及び改善・課題点等の検討 検討事項の審査		実績	既存事業の見直しについて各課へ照会 要求上限額配分作業実施 財政最適化に向けた取組開始 当初予算編成等検討開始	
	下半期	計画	審査結果に基づく当初予算などの編成		実績	当初予算における要求上限額の決定・通知 当初予算における経常経費の配分決定	
実施結果の 自己評価	評価	スクラップ・アンド・ビルドの徹底を図るため、当初予算編成前に経常的経費を含めた既存事業の見直し（サマーレビュー）等を各所管において行い、持続可能な財政運営を見据えた予算編成を行うことができた。					
	達成度	計画	3	目標	3	目標 (実績値)	10件
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	子どもファースト事業や今後予定している大型事業を推進することができるよう、今後も、経常的経費を含む事務事業の検証を継続する。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3	II目標	3	III妥当性	3

※経常的経費…義務的経費（支出が義務付けられている人件費、扶助費及び公債費の合計）のほか、物件費、補助費等で毎年度継続的に支出される経費のこと。

※スクラップ・アンド・ビルド…既存事業の見直しや改善、廃止を意識し、事業の再構築を図ること。

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート

No.	11	取組項目	元金償還額を上回らない市債の発行				
所管課	財政課	関係課	全課				
取組内容	償還財源に多額の一般財源を充当することから、市政運営の根幹にかかわる事業を除き、市債は、公債費の元金償還額を上回らない発行額とすることで、健全財政を維持する（※）。						
期待される効果	償還財源に多額の一般財源を充当する公債費の削減						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	元金償還額を上回らない市債の発行		実施	実施	実施	実施	実施
	公債費の抑制		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	年度末の市債残高	421.0億円	418.5億円	416.0億円	413.5億円	411.0億円
	実績値		407.4億円	403.9億円	390.6億円	377.7億円	367.2億円

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	主管課による事業の優先順位等の検討・決定 財政フレーム等の検討		実績	市債発行を伴う事業費について各課へ照会、 優先順位等の検討	
	下半期	計画	検討結果に基づく当初予算等の編成		実績	市債発行を伴う事業を精査等する中で、市債 発行を抑制した当初予算を編成	
実施結果の 自己評価	評価	学校の新校舎建設や令和8年開催の全国都市緑化フェアの会場整備等の大型事業により市債発行額が増加することに伴い、令和7年度予算では、市債発行額が元金償還額を上回るものの、事業の優先順位付けにより可能な限り市債発行を抑制する予算編成とした。					
	達成度	計画	3	目標	4	目標 (実績値)	367.2億円
未達成の原因と 今後の取組		-					
今後の方向性		終了	コメント	今後予定している大規模事業により市債残高の増加が見込まれるが、引き続き新たな市債の抑制に努める。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3	II 目標	4	III 妥当性	3

※一般財源…用途が特定されない財源のこと（市町村税や普通交付税など）。
 ※市債…学校建設や道路整備のように一時的に多額の費用が必要となるときに、地方公共団体が国や銀行などから借り入れる資金のこと。
 ※公債費…地方公共団体が長期的に借り入れた資金（地方債）の元利償還金や、一時的に借り入れた資金の利子の支払いに要する経費。
 ※元金償還額…市債の元金返済額のこと。

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート							
No.	12	取組項目	公共施設マネジメントの推進				
所管課	財産管理課		関係課	各施設所管課			
取組内容	公共施設の計画的な維持修繕による長寿命化や施設保有総量の最適化（施設の廃止、統合等）などを検討し、効率的・効果的な施設運営のあり方を検討し、見直す。						
期待される効果	施設の適正化により安定した財政運営を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	施設の廃止、統合等の検討・見直し		実施	実施	実施	実施	実施
	各施設個別計画の策定		実施	実施			
	各個別施設計画の内容精査					実施	実施
目標指標	数値目標	建築施設延床面積削減率（平成28年対比）	1.48%	1.85%	2.22%	2.59%	2.96%
	実績値		3.42%	2.96%	2.77%	2.96%	2.65%

進捗管理シート							
R6年度 実施状況	上半期	計画	各個別施設計画の内容精査		実績	・各個別施設計画の策定・内容精査 ・個別施設計画の進捗状況の確認と目標達成に向けた研究・検討	
	下半期	計画	亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議の開催		実績	・亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議にて、令和6年度末（見込み）時点での延床面積削減率及び各公共施設の現状等の共有化を行うとともに、個別施設計画の策定状況を報告。	
実施結果の 自己評価	評価	令和6年度は、新たな環境拠点施設や保育施設及び防災施設など、本市の重要施策に関連する施設整備が進んだことから数値目標の達成には至らなかったが、児童館等の除却が進んだ。					
	達成度	計画	3	目標	3	目標 (実績値)	2.65%
未達成の原因と 今後の取組	現在、ふるさと納税等の財源を活用しながら、防災、教育、文化施設等、本市の重要施策を推進しており、今後も大型事業が見込まれている。市全体の管理計画を精査するとともに、長寿命化等による持続可能な財政運営に努める。						
今後の方向性	継続	コメント	管理計画をもとに、施設の廃止、統合等の検討・見直しを引き続き行う。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3	II目標	3	III妥当性	3

※公共施設マネジメント…公共施設の計画的な維持修繕による長寿命化や施設保有総量の最適化（総量縮減）など、市が保有する公共施設を最適に維持管理し、有効活用を図ることで、適切な行政サービスの提供と安定した財政運営を両立させるための取組のこと。

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-②受益と負担の見直し

実施計画シート							
No.	13	取組項目	受益者負担の適正化				
所管課	企画調整課・教育総務課		関係課	使用料・手数料の所管課			
取組内容	受益と負担の公平性を確保する観点から、公共サービスの手数料や使用料について、近隣市との比較による現状分析等を実施し、適正な負担の程度の検証や適正化を図る。						
期待される効果	受益と負担の公平性を保つ						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	①使用料・手数料の検証						
	使用料・手数料の状況把握、近隣市の状況調査		実施	実施	実施		
	調査結果の検証、近隣市との比較等による現状分析			実施	実施	実施	
	使用料・手数料の適正化の検討・見直し			実施	実施	実施	実施
	②学校施設使用料の検証						
	学校施設使用料の状況把握、近隣市の状況調査		実施				
	調査結果の検証 近隣市との比較等による現状分析		実施				
使用料徴収の適正化を検討・見直し			実施				
目標指標	数値目標	-		-	-	-	-

進捗管理シート							
R6年度 実施状況	上半期	計画	【①使用料・手数料の検証】 ・使用料・手数料の庁内見直し状況調査 ・近隣及び同規模自治体の状況調査		実績	・本市の使用料・手数料の見直し状況調査	
	下半期	計画	【①使用料・手数料の検証】 ・使用料・手数料の庁内見直し状況調査 ・近隣及び同規模自治体の状況調査		実績	・使用料・手数料の庁内見直し状況調査 ・近隣及び同規模自治体の状況調査	
実施結果の 自己評価	評価	窓口の混雑を軽減し、市民の利便性を高めるため、コンビニ発行手数料を見直すなど、受益者負担の適正化に努めた。また、国の制度変更に伴う公金収納のデジタル化に向けた情報収集を今後も継続し、円滑な移行に努める。					
	達成度	計画	3	目標	-	目標 (実績値)	-
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	利用者の利便性を考慮しつつ、物価高騰を考慮した適正な価格設定に努める必要がある。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3	II目標	-	III妥当性	3

亀岡市行財政改革大綱 2020-2024
実施計画 令和 6 年度取組結果

亀岡市政策企画部企画調整課

〒621-8501 亀岡市安町野々神 8 番地

TEL(0771)25-5006/FAX(0771)24-5501

E-Mail yume-vision@city.kameoka.lg.jp